

# 結核に気を付けて！

結核は昔の病気と思われる方もいるかもしれませんが、日本は結核の中蔓延国であり、日本国内でも、新規結核患者が年間約17,000人にもものぼります。

## 日本の結核の特徴

- ① 高齢化が進む  
新たに結核と診断された人のうち、65歳以上が7割を占める。
- ② 外国生まれの患者が増加  
特に20～29歳の新登録患者のうち6割が外国出生者。
- ③ 働き盛りの発見が遅れる  
受診が2か月以上遅れる割合は2割。このうちの3分の1が30～59歳。
- ④ 大都市に多く発生  
大都市では罹患率が高い。



結核予防会のマスコットキャラクター「シール坊や」

## 症状

咳が  
出る

たんが  
出る

微熱が  
ある

身体が  
だるい

疲れ  
やすい

体重が  
減少した

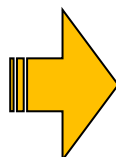
寝汗を  
かく

胸が  
痛む

これらの症状が2週間以上続いたら、  
早めに医療機関を受診しましょう。

特に、高齢者では、咳・痰といった典型的な症状が出ない場合があります。体重が減る、元気がない、熱が続くといった様子は、結核のサインかもしれません。

結核は、進行すると、肺に空洞ができ、血たんなどの症状が現れるようになり、最終的には肺が破壊され、死に至ります。



自分は大丈夫だと思って、そのままにせず、  
**早め早めの対応を！**

## 感染と発病

### 【感染】

結核が進行した患者が咳などをすると、結核菌を含む小さなしぶきが飛び散り、空気中にただよって、周りの人がそれを吸い込むことによって感染します。

### 【発病】

感染＝発病ではありません。

吸い込まれた結核菌が肺の中などで増えることで発病します。

**薬をきちんと飲めば  
治ります！**

## 治療

結核と診断されたら、結核の治療を受けます。(抗結核薬を服用)

重症化して他の人に感染させる恐れがある場合⇒入院して治療  
重症化していない場合 ⇒外来での治療

重症化していない外来での治療の場合は、薬をきちんと飲んでいれば、  
仕事や学校に行くこともさしつかえありません。

## 公費負担

結核の治療を安心して続けていただくために、  
結核にかかる医療費は公費負担されます。

入院治療⇒医療費全額が公費負担  
外来治療⇒医療費の95%が公費負担

※一部の検査などは公費負担とならないものもあります

## 悩まず・抱え込まず、まず相談を！

泉区福祉保健センター福祉保健課健康づくり係では担当の保健師が患者や家族の支援をします。療養に関するご相談のほか、治療に伴うさまざまな不安などについても、関連部署と連携して不安を取り除けるように支援していきますので、結核に関する相談窓口としてご利用ください。

泉福祉保健センター  
福祉保健課健康づくり係  
電話：800-2445



泉区マスコット  
キャラクター  
「いっずん」